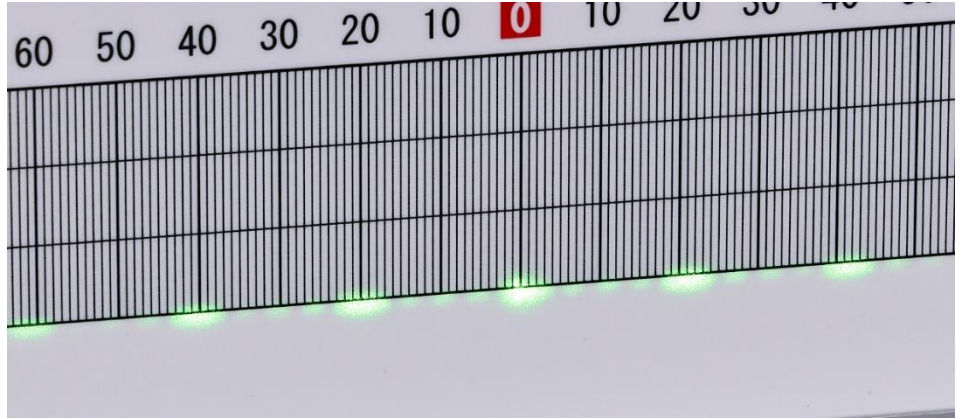


# 光の干渉縞観察器 FSL-C2

光の干渉縞が  
はっきり観察  
できる！

半暗室でも  
はっきりと観察できる  
**緑色レーザー**  
を採用！



※レーザーボックスを2mの距離に置いた時の様子

四種スリットを使った光の干渉実験が手軽に行えるように、レーザー装置・目盛付きスクリーン・スリット2枚がセットになっています。（収納ボックス入り）



便利なスリット  
スライド用  
レール付き

- ・緑色レーザーは視認性が良いため、赤色レーザーと同じ強度でも、半暗室でも観察・測定が可能です。
- ・レーザーボックスにスリットスライド用レールがついているため、スリットの交換や移動が楽にでき、実験が容易に行えます。
- ・スリットはスリットの間隔が違うもの(FS-I)と、間隔は同じで本数が違うもの(FS-N)が各1枚付属しています。
- ・スリット幅はどちらも10 $\mu$ mです。



## 実験例

## 四種スリットによる干渉縞の観察

- (1) 人のいない方向にある壁もしくは付属のスクリーンから、1.5~2m程離してレーザボックスを設置します。距離はメモしておきます。
- (2) 四種スリットをスライドレールに置き、電源スイッチを（ON）に倒してレーザを直接のぞき込まないように注意しながら、スリットの位置を調整します。
- (3) レーザー光が水平になるようレーザボックスの底にある角度調整ねじを回して調整します。
- (4) FS-Iを使用した場合はスリットの間隔の違いによる干渉縞（下記左）、FS-Nを使用した場合はスリットの本数による違いによる干渉縞（下記右）を確認します。
- (5) スクリーンの目盛などから、干渉縞の間隔を測定します。



FS-Iを使用した場合（レーザボックスまでの距離2m）



FS-Nを使用した場合（レーザボックスまでの距離2m）

Cat.No		128-116
品名		光の干渉縞観察器 FSL-C2
価格		¥62,000（税込¥68,200）
レーザボックス	出力	0.9 mW以下
	種類	半導体励起固体レーザー
	発振形態	CWレーザー（連続発振）
	ビームモード	シングル
	動作環境	温度：15～35℃ 湿度：80%以下（結露しないこと）
	波長	522～542 nm
	電源スイッチ	ON：前→倒している間だけオン/後→オン状態を保持 OFF：中間
	電源	ACアダプタ（6V-1.8A）
スクリーン	最小目盛	1 mm
	大きさ	W220×D30×H100 mm
付属品	四種スリット	FS-I(間隔)×1枚 FS-N(本数)×1枚
	収納ケース	約W226×D143×H102mm ※外観や色が異なる場合があります。



JIS C 6802:2014に基づくクラス2のレーザーを使用しております。



クラス毎の安全基準に従って、適切な取り扱いをお願いします。



各製品の波長・発振形態・出力、放射パターンなどをご確認の上、お客様のご使用目的に応じて適切なレーザー保護メガネをご使用ください。



目に影響を与える場合がありますので、直接または鏡面などで反射したレーザービームをのぞき込まないでください。

理科製品に関する技術的なご相談は島津理化 HP お問い合わせフォームから <https://www.shimadzu-rika.co.jp/contact/index.html>



**株式会社 島津理化** <https://www.shimadzu-rika.co.jp/>

東日本営業部 東京 TEL 03-6854-0210 札幌 TEL 011-758-0788  
 仙台 TEL 022-380-8950  
 西日本営業部 大阪 TEL 06-6375-2551 名古屋 TEL 052-857-9176  
 福岡 TEL 092-271-1418  
 海外事業部 TEL 03-6854-0261

本社 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-32 出版クラブビル